
ママ

西 涼子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ママ

【コード】
N3063C

【作者名】
西 涼子

【あらすじ】
最近、自分もママになったので書いてみました。

26歳。

母になる。

子供なんて大嫌い。

あんなに言ったのに。避妊だけはちゃんとしてって。でも、できた。

夫の作戦勝ち。

夫は子供が欲しくて仕方なかった。

つわり、最悪。

好きだった食べ物、全部食べられなくなった。お茶すら飲めない。受け付けるのはアイスクリームだけ。この時点で墮ろそうかと、本気で思った。でも、周りが絶対許さなかった。

胎動。

気持ち悪いだけ。お腹の中でエイリアンが動く気分。

日々大きくなるお腹に憂鬱。腰痛がひどくなった。胎児が胃や肺まで押ししてる感じがして、息苦しい日々。眠れない。食べたら吐く。こんな生活のどこに幸せを感じるのかわからない。

定期検診はますます憂鬱。何回もサボって医者に叱られた。でも回りの妊婦の幸せそうな顔に腹が立った。

「あなた、本当に幸せ？」って。最終的に夫が強制的に病院まで着いてくるようになった。

妊娠38週。

買い物途中で破水。

心構えなんてなんにもしていない。
なのに入院になった。

「今日中に陣痛がくると思うから。」
医者に言われて驚く。

もう出て来てしまおう。

どうしよう。

嫌だ嫌だ嫌だ！

その日は陣痛は来なかった。それは普通じゃないらしい。破水したらたいてい陣痛はくるらしい。

朝から陣痛促進剤が、私の腕に繋がった。

最後の最後まで、嫌だった。生みたくなかった。

その時がきた。

私が嫌がってたのがわかったのか、いつまでたっても強い陣痛がこなかったせいで、医者が卵膜を破った。

「痛い！痛い！！」

いきなり爆発するくらい痛みが腰に走った。お腹から腰にかけてちぎれてしまうんじゃないかと思うくらい激痛。間違いなく人生で一番の痛み。

夫がオロオロしながら私の腰を押していた。

とにかく痛くて、うずくまる事しかできない。話すのも辛い。
いきみ逃しなんてできたもんじゃない。とにかく痛い。

「痛い！痛いー！！あー！早くー！！」

ん？

早く、何？

思わず言っただけど、早く何だ？

冷静な自分が頭の隅で言う。

そっか。

嫌がってても、私、早く出て欲しいんだ。

私が、この子に出てきて欲しいんだ。

今までごめんね。

やっぱり、早く出て来て欲しいよ。

2時間苦しんだ。

生まれたのは、女の子。

小さい小さい、女の子。

私の、子。

私が望んで、出て来てくれた子。

「ごめんね。」

一番に謝って、

「出て来てくれてありがとう。」

素直にそう言えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3063c/>

ママ

2010年10月11日21時07分発行